

第六章 富田地区交通まちづくり基本構想

平成19年度、20年度と開催してきた富田地区交通まちづくり勉強会の結果を参考にしながら、富田地区交通まちづくり基本構想を策定しました。

1 交通まちづくりの基本方針

富田地区交通まちづくり基本構想は、以下の3つの基本方針を基に策定し、この方針に即して富田地区のまちづくりを推進するものです。

■ 基本方針

1. 誰もが安全快適に歩けるみちづくり

富田地区は大阪府、市域全体に比べて高齢化が進んでいる地域であること、また、富田地区交通まちづくり勉強会でもたくさんの意見が出された安全快適に歩けるみちづくりに従い、子どもからお年寄りまで、誰もが安全快適に歩くことができる道路整備を進めます。

2. 歴史資源を活かしたまちづくり

富田地区には神社仏閣や酒蔵など富田地区固有の歴史資源が多数点在しており、これらの歴史資源を活かし、わかりやすく、楽しく歩いて見学できるような散策道の整備や案内板の設置を行います。

3. 駅周辺の賑わいと活力のあるまちづくり

JR摂津富田駅と阪急富田駅の間にある商店街を富田地区の賑わいや活力を生み出す有効な空間として捉え、安全で快適に買物ができる空間として整備を進めます。

また、JR摂津富田駅南口の駅前広場は富田らしさを感じることができるような集いと出合いの広場の整備を進めます。

2 ゾーニング

富田地区の地区特性をもとに以下のようなゾーン、軸、拠点を設定します。

これらのゾーンが軸によって互いに有機的に結ばれながら、その特性を発揮することによって、富田地区のまちづくりの3つの基本方針を実現することが可能となります。

(1) ゾーン

①賑わいゾーン

J R摂津富田駅と阪急富田駅の駅間を中心とした商店街を「賑わいゾーン」と位置づけ、商店街の活性化や賑わい空間の創出を進めます。

また、駅間を移動する人々が安全快適に歩行できる空間の確保を行います。

②歴史資源ゾーン

国の重要文化財に指定された普門寺をはじめ、富田地区固有の歴史資源である神社仏閣、酒蔵などが点在する地区を「歴史資源ゾーン」と位置づけ、この地区の回遊性を高める空間形成を高めます。

③親水ゾーン

小寺池や筒井池など地区の潤い空間を「親水ゾーン」として、憩い、安らぎの空間形成に努めます。

(2) 軸

①幹線道路軸

富田奈佐原線、高槻茨木線を「幹線道路軸」と位置づけ、南北間、東西間を結び通過交通の処理と富田地区の骨格となる道路として整備を進めます。

②地区内準幹線道路軸

富田牧田線、富田芝生線を「地区内準幹線道路軸」と位置づけ、駅へのアクセス性の向上や公共交通機関の運行も視野に入れながら、地区内の利便性を高める道路として整備を進めます。

③歴史回遊軸

J R摂津富田駅、阪急富田駅から歴史資源ゾーンを結ぶ道路を「歴史回遊軸」と位置づけ、歴史的まちなみに配慮し、誰もが安全に楽しく散策することができるような空間形成に努めます。

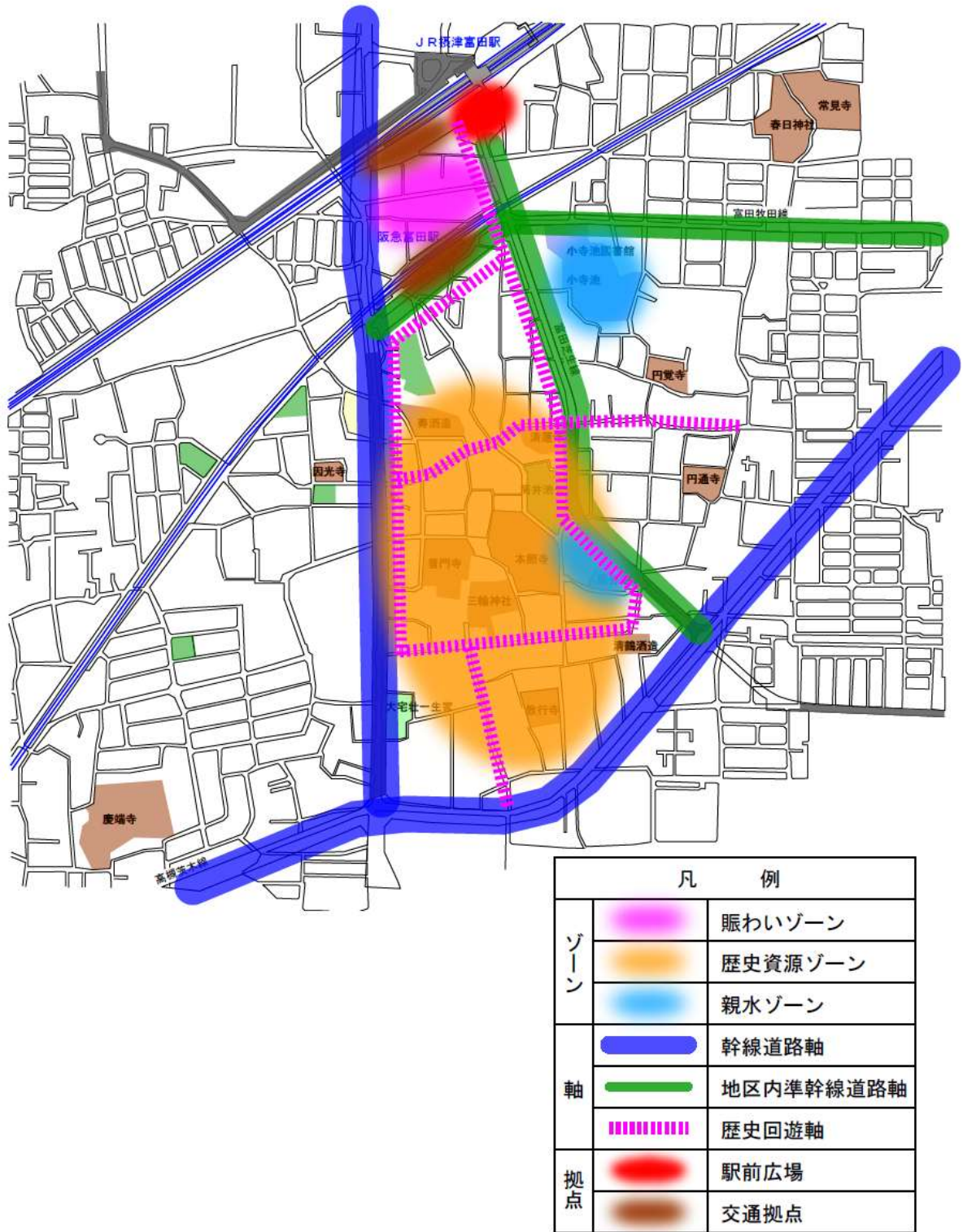
(3) 拠点

①駅前広場

J R摂津富田駅南口駅前広場は、歴史ある富田地区の玄関口にふさわしい魅力あふれる空間の形成を目指します。

②交通拠点

J R 摂津富田駅南口、阪急富田駅南口は、地区内の円滑な交通機能の強化を図るため、道路・鉄道・バスルートをつなぐ駅前広場機能を持った交通拠点の強化に努めます。



富田地区交通まちづくりゾーニング図

3 交通結節点の考え方

(1) 交通体系としての整備

高槻市では、富田奈佐原線、高槻茨木線を主要幹線道路、富田芝生線、及び富田牧田線を地域内幹線道路として位置づけています。

そのため、富田奈佐原線は市の西側の南北の軸としてボトルネック踏切の解消を図ることが必要であり、富田芝生線はＪＲ摂津富田駅や阪急富田駅へのアクセス道路として、富田牧田線は市街地の東西軸として重要な路線であることから整備を推進していくことが必要です。

(2) 地区住民や駅利用者が利用しやすい交通施設の整備

富田地区交通まちづくり勉強会では、「歩行者を中心とした安全で安心して歩くことが出来る道路の整備」が望まれています。また、現状ではＪＲ摂津富田駅や阪急富田駅は相互の乗り換えが便利なことから通勤・通学の利用者が多くなっています。

そのため、地区住民や駅利用者の交通アクセスやバスの利用についても考慮した交通施設の整備を推進していくことが必要です。

(3) ＪＲ摂津富田駅と阪急富田駅間の歩行者中心の道路の整備

ＪＲ摂津富田駅と阪急富田駅を結ぶ富田芝生線については、富田地区交通まちづくり勉強会で「歩行者を中心とした安全で安心して歩くことが出来る道路の整備」が望まれています。

そのため、ＪＲ摂津富田駅～阪急富田駅間の富田芝生線は、歩行者が安全に歩くことができる賑わい空間の創出を図りながら、緊急車両や商店街への商品搬入車に対応できる道路整備を検討していくことが必要です。

(4) ＪＲ摂津富田駅南の交通広場整備とアクセス道路の確保

都市計画決定されているＪＲ摂津富田駅南の交通広場は、富田芝生線が歩行者中心の道路となった場合、自動車等による直接的なアクセスができなくなります。

これらのことから、公共交通や体の不自由な方の駅へのアクセスのため富田奈佐原線からＪＲ摂津富田駅南口広場を結ぶ東西方向のアクセス道路を確保していくことが必要です。

(5) 富田芝生線、富田牧田線のバス交通アクセスの整備

阪急富田駅南側では、現在、小寺池図書館前にバス停留所が整備されていますが、バス交通の利便性を図るために、阪急富田駅南側での交通広場機能を整備するとともに、アクセス路線となる富田芝生線及び富田牧田線において、バスの運行にも配慮した道路の整備を推進していくことが必要です。

4 路線毎の整備方針

交通結節点の考え方にもとづき、それぞれ以下のような整備を進めます。

(1) 富田奈佐原線

- ・安全、快適に歩くことができる歩行者空間を確保します。
- ・特にJRガード下については、富田奈佐原線が整備されるまでの間の歩行者の安全対策を最優先で行います。

(2) 富田芝生線（阪急富田駅以南）

- ・安全、快適に歩くことができる歩行者空間の確保を行います。
- ・富田地区の賑わいエリアへの導入路線であることから街なみの景観に配慮したみちづくりを進めます。
- ・地区住民や駅利用者の交通アクセスの向上のため、バスの運行を検討します。

(3) 富田牧田線

- ・安全、快適に歩くことができる歩行者空間の確保を行います。
- ・阪急用地の活用も含めた駅前広場の検討を進めます。

(4) JR摂津富田駅～阪急富田駅

- ・賑わいエリアとして、安全、快適に歩くことができる歩行者空間の確保を行います。
- ・特にJR摂津富田駅と阪急富田駅間の富田芝生線は不法駐輪対策を進めるとともに、歩行者が安全安心に買物ができる空間の検討を行います。
- ・JR摂津富田駅南口に富田地区の玄関口としてふさわしい、集いと出会いの広場の整備を行います。



5 歴史ゾーンの整備方針

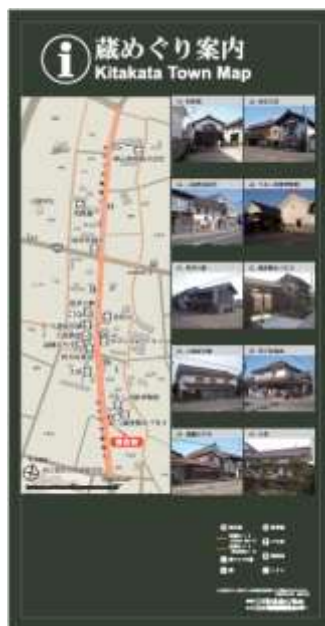
(1) 歴史資源ゾーンの道路整備

- ・ J R 摂津富田駅、阪急富田駅から歴史資源ゾーンを結ぶ「歴史回遊軸」と位置づけられた道路は、富田地区に点在する歴史資源を回遊する中心的な道路として、歴史的まちなみに配慮し、誰もが安全に楽しく散策することができるような歩道の整備を行います。
- ・ その他の歴史資源ゾーン内の道路については、歴史資源である酒蔵や神社仏閣などの資源の景観を阻害することがないように、歴史資源同士を結ぶ道路において、統一した舗装の整備を行います。



(2) 歴史資源の案内板・説明板の整備

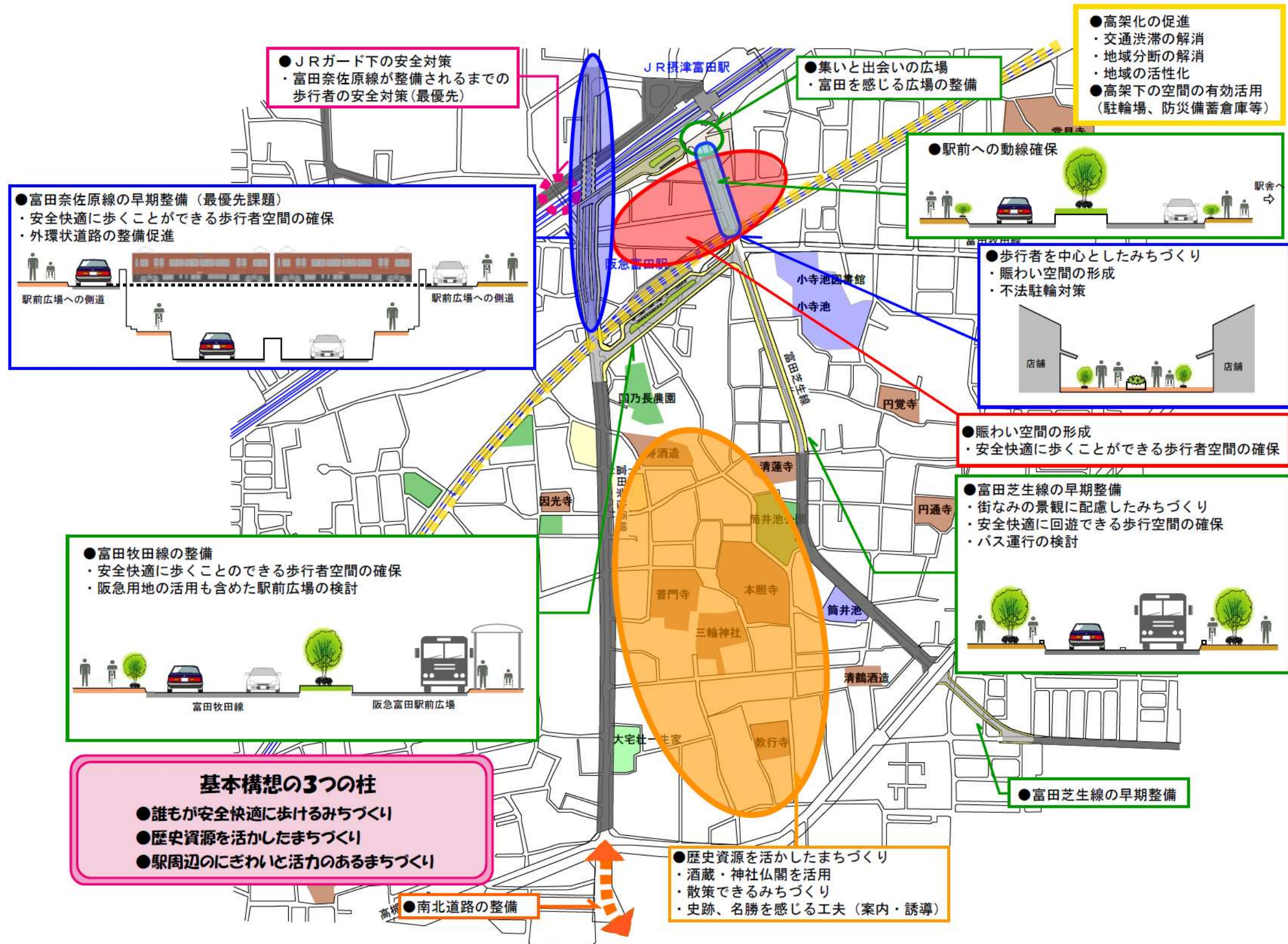
- 歴史資源である神社仏閣と酒蔵などの資源を紹介する案内板・説明板は、歴史的まちなみ景観にあわせ、落ち着いた色調で誰でもわかりやすい内容の整備を行います。



喜多方観光協会 HP より

6 富田地区交通まちづくり基本構想

富田地区の交通まちづくり基本構想は下記のとおりです。



第七章 今後の展開方針

今後は、富田地区交通まちづくり基本構想を踏まえて、富田地区の都市計画道路の整備を以下のとおり推進していくこととします。

また、まちづくりは今後も住民と行政とが手を携えながら行っていく必要があります。

そのために、今後は以下のようなスケジュールで事業を展開していきます。

取りまとめ	誰もが安全快適に歩ける みちづくり	歴史資源を活かした まちづくり	駅周辺の賑わいと 活力のあるまちづくり
短期目標	<ul style="list-style-type: none"> ● J Rガード下の安全対策の検討と実施 ● 富田奈佐原線の早期整備の要請 ● 富田芝生線整備に向けての具体化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史まちづくり計画の検討 ● 歴史資源散策ルートの設定と、その周辺の環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● J R～阪急間の違法駐輪対策の検討と実施
中長期目標	<ul style="list-style-type: none"> ● 富田芝生線の整備 ● 富田奈佐原線の整備 ● 富田牧田線の整備 ● 阪急京都線（富田駅周辺）の高架化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史的まちなみ景観 	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅周辺の富田地区にふさわしいまちづくりに向けての取組

発行

高槻市都市創造部都市づくり推進課

〒569-0067

高槻市桃園町2-1

TEL:072-674-7551 FAX:072-661-7008

E-mail:toshiduk@city.takatsuki.osaka.jp